

ニュースレター 30号【防災学術連携体】2020/9/24

新型コロナウイルス感染症の拡大は続いており、秋から冬への気温の低下と乾燥に注意しなければなりません。9月・10月の台風到来、地震はいつ発生するかわかりません。皆様の防災・減災への取り組みを続けてよろしくお願いたします。

10月3日には内閣府の防災推進国民大会で「複合災害への備えー with コロナ時代を生きる」、年明けの1月14日には「東日本大震災からの十年とこれから」を開催致します。

両者ともネット中継を行いますので、多くの方々の視聴を期待しております。

先生方のご所属の学会のホームページを通した広報、ご研究のお仲間などに知らせていただくと幸いです。

防災学術連携体 代表幹事 大友康裕（東京医科歯科大学教授、日本災害医学会代表理事）

代表幹事 米田雅子（慶應義塾大学特任教授、日本学術会議会員）

（1） 第5回防災推進国民大会において、第10回防災学術連携シンポジウム・日本学術会議公開シンポジウムをネット配信により開催します <https://bosai-kokutai.com/session/detail/SS-11/>

「複合災害への備えー with コロナ時代を生きる」 https://janet-dr.com/060_event/20201003/20201003_leef.pdf



主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会、防災学術連携体（58学会）

日時：2020年10月3日（土曜日）午後1時半から3時

会場：東京のスタジオからネット同時配信により開催します

趣旨：新型コロナウイルスの感染拡大は日本全国、全世界に及んでいます。感染症への対策は続けねばならず、この間に生じる自然災害によって起こる複合災害にも警戒が必要です。日本は災害の多い国であり、南海トラフ地震、首都直下地震のみならず、気候変動の激化による豪雨災害にも備えねばなりません。「with コロナの時代」に生きる私たちは、今後どのように複合災害に備えていべきでしょうか。医療、気象、河川、地震、土木、建築、都市計画などの分野の専門家が集まり、知恵を結集して議論するとともに、一般市民への展開を図ります。

（2） 第11回防災学術連携シンポジウム・日本学術会議主催学術フォーラム（予定）を開催します

「東日本大震災からの十年とこれから」～58学会、防災学術連携体の活動～

主催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会、防災学術連携体（58学会）

日時：2021年1月14日（木曜日）午前10時から午後5時

場所：東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂、およびネット同時配信を行います

趣旨：2011年東日本大震災の甚大な被害から十年が過ぎます。東日本大震災以降も日本の各地で多くの自然災害が発生しました。これらの災害について、多くの学会は調査研究、記録、提言、支援などを続けてきました。大震災後十年を迎えるにあたり、防災学術連携体の各構成学会と日本学術会議の委員が、これまでの活動を振り返るとともに、今後の取り組みについて発表します。なお、同時に、東日本大震災十周年「防災学術連携体58学会の記録」の冊子を作成し、参加者及び関係各所に配布します。

防災学術連携体幹事・事務局長 田村和夫（日本学術会議連携会員）
運営幹事 和田 章（日本学術会議 連携会員）

防災学術連携体事務局 website@janet-dr.com

担当：麓 絵理子（フモト エリコ）、小野口弘美（オノグチ ヒロミ）

・ニュースレターの配信依頼、配信解除もここにご連絡下さい

防災学術連携体は、日本学術会議協力学術研究団体に加盟しました。